



おまち

Vol.
142

2024. 5. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県県土整備部都市計画課企画推進係



西毛広域幹線道路(高崎西工区)開通式の通り初め



新しいまちづくり支援はじめます☆

- 新しい市町村まちづくり支援の開始について
- 西毛広域幹線道路(高崎西工区)全線開通！
- 上信自動車道 吾妻西バイパスの開通
- 令和5年度まちづくりシンポジウム ～人が集い新たな交流が生まれる時間～

【トピックス】官民連携による空き家の再生・活用とまちづくり

【投稿】令和5年度みどり市景観講演会

「縮退の時代に生き残るための新しいまちづくり実践論」

- 【マーチィ'sROOM】
- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
 - マーチィVOICE まちづくりプレイヤー紹介
 - マーチィの掲示板 市町村人事交流職員研修を終えて

- 【まちづくりイベント情報】
- 県内で行われるイベントの紹介
 - マーチィの独り言



新しい市町村まちづくり支援の 開始について

都市計画課企画推進係

県都市計画課では、エリア価値の高い持続可能なまちづくりを進めていくため、市町村まちづくりを支援する新しい取組「Gunmaまちのリファインさぽーと」を始めます。令和5年度に実施したまちづくりに関する市町村アンケートで寄せられた意見を基にして、市町村のニーズに沿う支援を行っていきます。

今年度、この取組を活用してまちづくりの一步を踏み出したり、促進していこうとする市町村を募集します。詳細については改めてチャット等で案内しますので、それまでお待ちください。

■ 市町村が持つまちづくりの課題

昨年の秋頃に市町村が持つまちづくりの課題を調査するため、アンケート調査を実施しました。県内全ての市町村から回答をいただくだけでなく、まちづくりに関連する複数の部署から回答をいただきました。お忙しい中アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケート調査の結果、下図に示したように市町村が持つ課題は3つのカテゴリに分類できました。

カテゴリ毎に市町村支援について検討した結果、令和6年度から新たな市町村まちづくり支援を実施いたします。

■ 新たな支援策

①市町村交流促進事業

アンケート結果から「情報発信・共有」、「県・市町村間連携」というキーワードがいくつも見られました。しかしながら、県と市町村が対面で行う相談や既存のメールや電話といったツールを用いた相談では、心理的なハードルが高いということも出てきました。

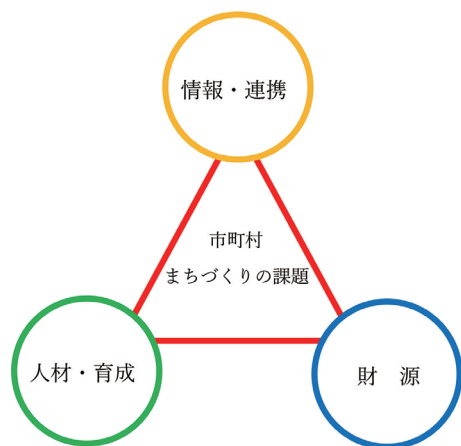
そのため、既存の仕組みとは異なる新たなコミュニケーションツールである「LoGoチャット」を用いて意見交換を行うことを試行的に実施します。詳細について調整中のため、後日案内いたします。

②まちづくりアドバイザー派遣事業

アンケート結果から、まちづくりに関する「ノウハウ」や「人材」が不足しているという意見がとても多く見られました。また、まちづくりの初期に対する支援が特に必要だという意見もありました。

そういったことから、まちづくりの初期に対する支援として専門知識やスキルを持つアドバイザーを派遣する支援も行います。

また、必要に応じてアドバイザーへの相談についても伴走支援を行います。



市町村アンケートに寄せられた課題のキーワード

市町村交流促進事業

- まちづくりに関する情報交換の場が欲しいというニーズから、チャットツールを用いた交流促進支援を実施。
- 県・市町村が活用しているLoGoチャットで「(仮)市町村まちづくり相談」チャットルームを作成し、県・市町村が気軽にコミュニケーションをとれるような体制を構築する。

まちづくりアドバイザー派遣事業

- まちづくりの専門知識やスキルを持つアドバイザー(専門家)を派遣し、まちづくりの初動期を支援する。
- 市町村が持っている様々な課題・相談を県がヒアリングし、適切なアドバイザーとのマッチングをサポートする。
- 講師の派遣費用も一定の範囲内で県が助成を行う。

※財政的な支援は、既存の補助事業に係る事務手続支援や国への要望活動の支援といった既存の取組を推進する事により支援を実施



西毛広域幹線道路 (高崎西工区)全線開通！

高崎土木事務所 工務第四係
高崎土木事務所 榛名事業所 工務係

■ はじめに

西毛広域幹線道路 高崎西工区(延長約4.7km)は、平成21年度に事業に着手し、これまでに「主要地方道高崎東吾妻線(箕郷町上芝：旧箕郷町)」から「主要地方道あら町下室田線(本郷町：旧榛名町)」までの約3.1km区間が供用を開始しています。(R4.3)

このたび、残る主要地方道あら町下室田線「ドドメキ交差点」から国道406号「バンバ交差点」までの約1.6km区間が、令和6年3月27日(水)に開通しました。

開通式では多くの関係者の方にご出席いただきました。



開通式のテープカット・通り初め

■ 事業概要

西毛広域幹線道路は主要地方道前橋安中富岡線のバイパスとして、前橋市の国道17号から高崎市、安中市を經由し、富岡市の国道254号に至る延長約27.8kmの主要幹線道路です。その中でも「高崎西工区」は、箕郷町上芝から上里見町の国道406号までの約4.7kmの区間になっています。

■ 高崎西工区の魅力発信のための取組

高崎西工区の建設事業では将来の担い手確保や建設産業への興味・関心を持ってもらえるよう、以下の取り組みを行いました。

(1) 地元小学校の体験学習

開通前の令和6年2月7日(水)に高崎市立久留馬小学校の児童を工事現場に招待し、「基層へのお絵描き」や「鬼ごっこ」など工事現場を活用した体験学習を実施しました。

また、高崎西工区内の橋梁で最長の「榛名令和大橋(L=181.0m)」の橋名板の揮毫(きごう)も、久留馬小学校の児童が担当しました。

子供たちに大変喜んでもらったため、担当としても実施して良かったと感じています。

(2) イメージアップ動画の作成

建設産業の仕事の魅力ややりがいを感じてもらい、建設産業のイメージアップを図るため、高崎西工区の設計や工事に携わった設計者や技術者の方々が登場する「紹介動画」を作成しました。開通前のイベントや開通式典などで動画を流しており、また、YouTubeチャンネル「tsulunos」でも公開しています。



体験学習の様子



高崎西工区「紹介動画」(R6.2)

■ おわりに

高崎西工区の完成により、高崎土木事務所では、残る「高崎工区(延長3.17km)」および「高崎安中工区(延長3.83km)」のうちの(仮称)市境トンネルまでの1.93km区間について整備を推進していきます。

最後に、高崎西工区の完成に向けて様々な課題に対応してきた職員の皆様に敬意を表すとともに、ご協力をいただいた地元の皆様へ、改めて感謝申し上げます。



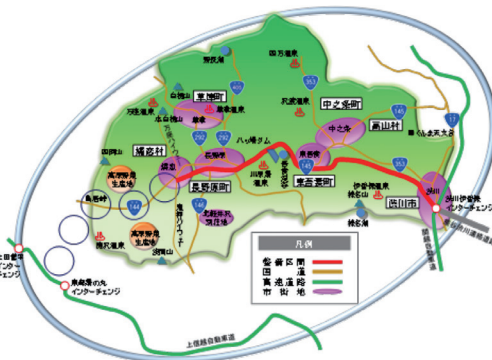
上信自動車道 吾妻西バイパスの開通

上信自動車道建設事務所 建設第二係

1. 上信自動車道について

上信自動車道は群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保インターチェンジ付近から鳥居峠付近を経由し、長野県側の上信越自動車道へ至る延長約83kmの道路です。

この路線は群馬県及び長野県の「広域道路交通計画」において高規格道路に位置づけられており、災害時に機能する強靱な道路ネットワークを構築するとともに、物流の効率化や観光振興など渋川・吾妻地域の活性化支援に大きく寄与する道路です。



上信自動車道の整備イメージ

2. 吾妻西バイパスの概要

今回の開通区間である吾妻西バイパスは、上信自動車道の全体延長約83kmのうち東吾妻町大字厚田～松谷における延長約7kmの区間であり、既に開通しているハッ場バイパスにつながるよう整備されています。

本区間の整備前は、現道である国道145号が自然災害や交通事故により通行止めとなることで一部の地域が孤立する可能性がありましたが、整備後はこの路線が災害時の代替路となり、地域の孤立を回避できるようになります。

また、この路線は高速道路に準じた構造のため、本区間の開通後は速達性と定時制の高い走行が可能となり、移動時間の短縮により渋川・吾妻地域の活性化に大きく貢献します。



3. 吾妻西バイパスの開通

令和6年3月20日(水)に、吾妻西バイパス(厚田IC～松谷東交差点)約7kmが開通しました。

同日行われた記念式典では関係自治体の首長や議員、工事関係者など多くの方々にご参加いただき、テープカットや通り初めなどの記念行事を行いました。



4. 終わりに

吾妻西バイパスでは多くの関係者にご協力をいただき、無事に開通させることができました。

この場を借りて御礼申し上げます。

なお、上信自動車道の整備は今後も続きますので、関係者の皆様には、引き続きご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。



開通式のテープカット・通り初め



令和5年度まちづくりリシンポジウム ～人が集い新たな交流が生まれる時間～

群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチーム
(群馬県県土整備部都市計画課)

■ はじめに

群馬県では「官民連携まちづくり」を推進しており、R3年度から情報発信の1つとして、官民連携まちづくりシンポジウムを開催しています。

今年度は「人が集い新たな交流が生まれる時間」というテーマを設定し、初めての試みとして、まちづくりの現場(下仁田町)でシンポジウムを開催しました。

マルシェとの同時開催というあまり類を見ない取組ではありましたが、おかげで多くの一般町民の方にもご参加いただけました。

幸いにも天気に恵まれ、老若男女を問わず、色々な方にご参加いただけましたシンポジウムとなりました。



■ 基調講演 (株)HAGISO 宮崎 晃吉 様 / 公共R不動産・(株)nest 飯石 藍 様

基調講演では、(株)HAGISOの宮崎様からまち全体を1つの宿として見立てた「まちやど」の取組を紹介いただき、地域と観光客がただサービスを提供する・サービスを受けるという関係性だけではなく、まちの一員になるという新たな関わり方についてご紹介いただきました。公共R不動産や株式会社nestでご活躍されている飯石様からは、公共空間は使う側の視点に立って捉え直す必要があるという話から池袋のグリーン大通りの取組についてご紹介いただき、公共空間の活用について大事なポイントを教えていただきました。



(株)HAGISO 宮崎 晃吉 様



公共R不動産・(株)nest 飯石 藍 様

■ トークセッション

トークセッションでは下仁田町で活動されている「まやま接骨院」の瀬間様、今回のマルシェを企画・運営していただいた「Otenki食堂」の伊藤様にも参加して頂き、宮崎様・飯石様も含めた4名が登壇したトークセッションを行いました。

基調講演を踏まえて、これからの下仁田町を考えるトークセッションでは、宮崎様・飯石様から新たな角度から下仁田町の魅力を語って頂き、今後のまちづくりに弾みがつくものになりました。

■ おわりに

今回はシンポジウムの一部しか紹介できませんでしたが、HPでレポートを公開しております。詳細が気になった方はぜひ、QRコードからご覧ください。



トークセッションの様子



官民連携による空き家の再生・活用とまちづくり

群馬県 県土整備部 住宅政策課

令和6年2月26日(月)に群馬県社会福祉総合センターにて、県住宅政策課主催の空き家対策セミナーが開催されました。株式会社On-Coから講師2名による、近頃話題になっているWEBサービス「さかさま不動産」の紹介と地域の課題解決に向けた空き家活用とまちづくりについての講演がありました。



株式会社On-Coは、空き家の活用は事業のほんの一部で、地域のコミュニティ創出を目的とした活動を主として行っています。さかさま不動産では「空き家」を掲載するのではなく、「何かをはじめたい人」を掲載するという、今までの空き家活用手法の概念からは想像できない新しい手法で取り組んでいます。

空き家活用もまちづくりもキーになるのは「人」です。そこがどのような地域か、どんな物語があるのかを伝える「人」と、何かをはじめたい、地域に貢献したい「人」をつなげることで、出会い・賑わいが生まれ、地域の復興や新たな街並みの創出も生み出せることができ、そこには、行政だけではなく民間事業者や市民の方が協力しあうことでそれぞれの特色を活かした取組が出来て、面白おかしいまちづくりや新たな地域コミュニティが出来るとのことでした。

株式会社On-Coでは現在、全国の地方自治体と連携して、空き家活用と地域のまちづくりを行うプロジェクトを行っています。

御相談される際は、まずは群馬県住宅政策課へお問い合わせを！



講演の様子



令和5年度みどり市景観講演会 「縮退の時代に生き残るための新しいまちづくり実践論」

みどり市 都市計画課

みどり市では、令和3年度に景観計画を策定して景観まちづくりを推進しており、その一環として多くの皆様に景観まちづくりについて関心を持っていただくため、「みどり市景観講演会」を開催しております。

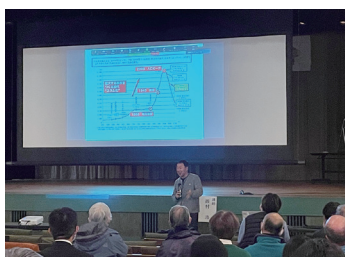
今回は建築家・クリエイティブディレクターの西村浩さんを講師に迎え、令和6年2月14日(水)にながめ余興場にてご講演いただきました。西村さんは、土木出身ながらワークビジョンズ一級建築士事務所を設立して建築の世界で独立し、現在は建築・リノベーション・土木分野のデザインに加えて、全国各地の都市再生戦略の立案にも取り組まれています。

講演会では、まず市から、みどり市景観計画と大間々官民共創デザインについて説明と紹介を行いました。

西村 浩さん

市の発表後、「縮退の時代に生き残るための新しいまちづくり実践論」というテーマで、まちづくりについて今まで西村さんが取り組んできた経験をもとにお話いただきました。

自治体が抱える人口減少という課題に関して、現状を打開するために必要な市民の意識や動き、行政がすべき対応のお話しを受けて、「官民が丸となって取り組むまちづくり、それによって生じる市民サービスやまちの景観の向上などの仕組み」について参加者が各々の角度で学ぶことができ、今後のまちづくりにつながるような大変興味深い講演でした。



講演の様子



質疑応答の様子





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「ウォーカブルシティ入門: 10のステップでつくる歩きたくなるまちなか」
著 ジェフ・スペック (学芸出版社)



著者は国際的にウォーカブルシティを提唱する都市プランナーで、80年代後半から、75都市のプランニングに関わっています。郊外化とダウンタウンの衰退が進む米国の中小都市に対する課題解決の鍵として、ウォーカビリティ(歩行可能性)に焦点を当てています。

本書の前半でウォーカビリティの重要性について、経済・環境・健康の視点で理論的に解説し、後半では、ウォーカビリティ実現のため、Ⅰ 利便性の高い歩行(①車、②用途混在、③駐車場、④公共交通)、Ⅱ 安全な歩行(⑤歩行者、⑥自転車)、Ⅲ 快適な歩行(⑦空間形成、⑧樹木)、Ⅳ 楽しい歩行(⑨ユニークな表情、⑩優先順位)の4つの視点で10のステップを提示しています。

直接的・短期的な中心市街地活性化策というより、総合的・中長期的なハード・ソフトを含めた施策が主題となっています。行政にとってネックとなる資源配分と政治については、ステップ10で箇所の優先順位を明確にしたアーバン・トリアージ計画による集中投資を提唱しています。

なお、本書には全く図表・写真が掲載されていないので、YouTubeで著者のWRLDCTY*1やTED*2の講演を視聴してから、本書を読むことをお勧めします。

*1 WRLDCTY…都市イノベーションのためのワールドフォーラムで、世界をリードする先見者が都市に関する講演をしている(141号で紹介したジャネット・サディク・カーンも講演)。大手戦略コンサルであるresonanceによって提供されている。

*2 TED…Technology Entertainment Design。ニューヨークに本部を置くNPO団体で、ビル・ゲイツやアル・ゴア等様々な分野のエキスパートによる講演(プレゼンテーション)を主催。(141号にも記載あり)



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

甘楽町プロジェクト・チーム

役場若手職員たちから「担当業務以外にも甘楽町の魅力化に貢献したい」との声があがり、甘楽町プロジェクト・チームが始動しました。5つのプロジェクトを想定し、各プロジェクトメンバーは公募で選出。主に役場の若手職員たちで構成されています。



【キックオフミーティング】



【公式Instagram】

フォロワー登録をお願いします!

【5つのプロジェクト】

(1) SNSの活用

インスタグラムを活用した町内のスポット飲食店の情報発信

(2) TVドラマの聖地巡礼企画

ハヤブサ消防団のロケ地マップ制作

(3) ふるさと納税PR

返礼品の画像更新、様々なツールを用いて広くPR

(4) 期間限定の飲食イベント

町内飲食店等とコラボしたイベントの企画、実施

(5) スポーツイベントの実施

子供達へ向けたスポーツイベントの企画、実施

令和5年11月に開催されたキックオフミーティングにおいて、各プロジェクト・チームで、事業実現に向けたアイデア出しや、目標設定、今後のスケジュールを話し合い、その後具体的な展開につなげています。

SNS活用チームでは、柔軟に情報発信が行えるよう、インスタグラムにて新しいアカウントを作成しました。ぜひご覧になっていたき、よろしければフォロワー登録をお願いします。

マーチィの掲示板

県・市町村人事交流を終えて

高瀬 聡 (みどり市→群馬県県土整備部都市計画課企画推進係)



令和4年度から2年間、県都市計画課でお世話になりました。派遣が決まった当初は「2年間長いなあ。」と思っていましたが、充実した日々はあっという間に過ぎてしまいました。県内外問わず多くの現場にいかせていただき、数多くのまちづくりの事例を学ばせていただきました。また、専門的な知識習得、人脈作り、広域的な視点など、市の内部では学べないことを多く経験させていただきました。

充実した派遣期間を過ごせたのは丁寧に指導してくれた群馬県職員、様々な依頼等に協力してくれた市町村担当者の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。今後もお力をお借りする場面があると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

2年間で学んだことをまちづくりに活かしていきます。ぜひ、みどり市にお越しください。





まちづくりイベント情報



館林市 花と緑のフェスティバル

花と緑の館林づくり協議会では、市民の皆さんと一緒に、花と緑の豊かなまちづくりを推進するため、「花と緑のフェスティバル2024」を開催します。フェスティバルの期間中、ボランティアのかたなどの協力を得て市内各所を花で彩ります。

■4月20日(土)～5月12日(日)

■館林駅周辺、市役所前、陽だまりの広場など

【お問い合わせ先】

花と緑の館林づくり

協議会事務局

(緑のまち推進課内)

TEL 0276-47-5154

【花と緑2024】

<https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/s067/kurasahi/130/100/070/20210414171303.html>



たんばらラベンダーパークオープン

約5万株のラベンダーが咲き誇る、たんばらラベンダーパークが今年もオープンします。詳しくは次のURLまで！

<https://www.tambara.co.jp/lavenderpark/>

■令和6年7月6日(土)予定

8:30～17:00(最終入園は15:45)まで

■沼田市上発知町玉原高原内

【お問い合わせ先】

たんばらラベンダーパーク

TEL 0278-23-9311



フラワーリレーションinみどり2024

みどり市内の花の名所を巡るスタンプラリーを開催中。スタンプを集めたポイントに応じてプレゼントがもらえます。

■令和6年3月23日(土)～令和7年3月10日(月)

■みどり市内20か所のチェックポイント

【お問い合わせ先】

(一社)みどり市観光協会

メール info@midori-kankou.jp



県立敷島公園

「健康Lifeサポート講座」開催中

①ボディシェイプ講座 月1回(金)19:30～

②心と身体スッキリ塾 月1回(水)10:30～

③ノルディックウォーク講座 月2回(金)13:30～

体力やお身体の状態に合わせてご相談いただけます。

詳細は公園HP

〈管理事務所〉→〈イベント情報〉

【お問い合わせ先】

県立敷島公園

担当：船津

TEL 027-234-9338

メール

spv@oriental-gunma.com



ここから今始めよう！健康Life

ボディシェイプ講座
しっかり動きたい方に



心と身体スッキリ塾
激しい動きは苦手な方に



ノルディックウォーク
レベルに合わせてご提案



マーチの独り言



～担当者からのつぶやき～

皆様に愛されてきた本誌『おっ!!まっちい～』も、創刊から25年目の春を迎えました。令和6年度は、相澤、小嶋、富岡、西田、高野、善養寺、藤田、白井の8名で担当させていただきます。

昨年行動制限が緩和されて以降、県内でも各種イベントやお祭り等が徐々に復活し、まちあるきの楽しみが充実してきました。引き続き各自での感染症対策をしつつ、新緑の季節のまちあるきを楽しみたいと思います！

『おっ!!まっちい～』では、掲載する記事やイベント情報を随時募集していますので、希望がありましたら、お気軽にご連絡ください。それでは、今年度もよろしくお祈りします☆

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】群馬県県土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL <https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html>

